

要請番号 (JL54519B29)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ウガンダ	C107 病虫害対策		グループ型	交替3代目	2年	・2020/1・2020/2・2020/3

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

農業・畜産・水産省

2) 配属機関名 (日本語)

国立作物資源研究所

3) 任地 (ワキソ県ナムロンゲ) JICA事務所の所在地 (カンパラ)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (バスで約 1.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

農業分野の研究・技術開発を行う国家農業研究機構(NARO)の傘下にある配属先は、食用作物全般の拠点研究機関である。JICAは稲作普及を目的に同研究所が実施するコメの品種試験、稲作技術に関する研修や種子の配付等の実施を支援している。JICAは2004年から個別専門家を継続的に派遣しており、2008年からは「ネリカ米振興プロジェクト」を実施した。現在、コメの増産を目的とする「コメ振興プロジェクト」フェーズ2、(2019年から2024年まで)が実施されており、JICA専門家が業務を行っている。その他農業機械隊員(2017年度3次隊)が1名活動を行っている。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

2008年に開催された東京アフリカ開発会議において、サブサハラアフリカのコメ生産を2018年までに倍増させることが目標に掲げられた。ウガンダ国においても食糧安全保障の確保、農家の所得向上を通じた貧困削減のために一層の稲作普及が求められている。現在、配属先では現地職員たちがJICA専門家の協力のもと、品種改良や栽培方法の改善のための圃場での試験、種子増産などを行っている。前任者(2019年1月帰国)は、DNAマーカーを用いた病害抵抗性の遺伝が世代の更新時に導入されたかを確認する試験を行い、その手法が配属先で実施できるよう手法・体制の確立を目指して活動していた。またコメの害虫被害の調査、農薬の効果に関する試験、また現地のコメ品種のいもち病への耐性に関する試験を行った。配属先は、これらの活動が発展的に継続されることを期待しており、隊員の派遣を要請している。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

- イネの病気に関する調査・試験の実施(特にDNAマーカーを使用した病害抵抗性を持つ新品種の育種に携わる)
 - 害虫の発生予察を行うための害虫発生状況、および被害率の継続的な調査
 - 各地で稲作普及を行うコミュニティ開発隊員への助言
- ※活動時にJICA専門家から技術的な助言を得ることも可能である。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

電気泳動装置、ゲル撮影装置、サーマルサイクラー、超微量分光光度計、イネの試験圃場、虫取り網

4) 配属先同僚及び活動対象者

- ・研究所長:1名(男性、50代)
- ・稲作試験に関わる研究員:12名
- 病虫害に関する研究員が1名(男性、40代、博士号)
- ・研究所圃場の作業員:多数

5) 活動使用言語

英語

6) 生活使用言語

その他

7) 選考指定言語

英語(レベル:D)

【資格条件等】

[免許]： ()

[学歴]： (大卒) 農学系 備考：専門的試験を行うため

[性別]： () 備考：

[経験]： () 備考：

任地での乗物利用の必要性

自転車

【地域概況】

[気候]： (サバナ気候) 気温： (15～30℃位)

[電気]： (不安定)

[通信]： (インターネット可 電話可)

[水道]： (安定)

【特記事項】

2階建て一軒家(個室あり、台所などを共有)で他のボランティアと共同生活を行うこととなる。